



1_会場に現れた天狗が子ども達一人一人の顔を見て回る。その形相に会場内には早くも子ども達の泣き声が響く／ 2_「いやだー」と泣き叫び、父親にしがみついて必死に助けを求める子ども／ 3_子ども達の中には天狗と握手を交わして帰っていく子どもも／ 4_太鼓集団「魁」が迫力ある演奏で子ども達の幸せを祈願／ 5_最後には天狗と一緒に記念撮影



第25回子泣かし天狗祭

泣く子も、笑う子も、眠る子も 「大きく育て、元気に育て！」

「第25回子泣かし天狗祭」は1月11日、広見体育センター行われました。「鬼ヶ城から山里に下りてきた天狗が子どもの健康やかな成長と幸せを祈願する」というこのお祭り。年々知名度が上がり、今年には町内外から平成25年に出生した子ども63人とその家族らが参加しました。

和太鼓の音色が響く中、

子ども達の前に姿を現した天狗。赤い光に照らされ、ゆっくりと歩み寄るその異様な雰囲気、会場内は一気に子ども達の泣き叫ぶ声に包まれます。

「第25回子泣かし天狗祭」は1月11日、広見体育センター行われました。

天狗に名前を呼ばれた子どもは、保護者に連れられて一人一人天狗のもとへ。その腕に抱きかえられ、恐怖に泣き叫ぶ子や平然とした子などさまざまな反応を示す中、天狗の「大きく育て」「可愛く育て」などと祈願する声に合せて、保護者が子どもの健康やかな成長を願い、力強く大太鼓を打ち鳴らしました。

今年も、子ども達の元気な泣き声が響き渡った「子泣かし天狗祭」。天狗による祈願が終わった後には、太鼓集団「魁」によるお祝いの演奏で幕を閉じました。

